

東アジア武術/武道の未来 - 武術性と応用性の探求

主催：東アジア武術・武道研究フォーラム
共催：早稲田大学スポーツ科学学術院
場所：早稲田大学東伏見キャンパス
開催日：2017年9月10日（日）

開会式 9時15分開始

基調講演：志々田 文明「なぜ武術性を問うのか？ 武術・武道研究の根本問題」

シンポジウム1：日本武術・武道における武術性の問題

基調講演：大保木輝雄「問題提起：武術の実用性とその応用」

加藤純一「日本の剣術・剣道における形技法と競技技法の実用性について」

中嶋哲也「柔術・柔道史における武術性の問題」

佐藤忠之「錨迫り合いに見る剣術と柔術の接点」

演武会：東アジアの武術の魅力 *中国武術, 日本剣術, 日本柔術, 剣道

招待講演：ローマン・M. カリーナ教授（アーカイブズ・オブ・武道 編集長）

シンポジウム2：中国武術における武術性の問題（13時20分 開始）

基調講演：池本淳一「誰の、何のための武術か？」

莊嘉仁「散打競技の歴史：戦前」

鄭旭旭「散打競技の歴史：戦後」

朴周鳳「韓国の武術における武術性の問題」

招待講演

デンコー・レグリ（マサリク大学教授） " The actual utility on martial arts in Europe "

パネルディスカッション：現代社会における武術のフロンティア：継承と維新の弁証法

横地浩紀・池本淳一「武道具マーケットの縮小とそのグローバルな再生プラン」

高無宝良「ニューメディア・セミナー文化と武術」

池本淳一「武術と観光・地域」

コメンテーターからの質問

ポスター発表

連絡先：工藤：ryutak77@gmail.com